



〈地域生活支援係〉

令和 5 年度赤い羽根共同募金

募金総額 2,187,510円

集まった募金は地域のボランティア活動や福祉活動に助成されます。また、募金運動にご協力いただいた多くの方々のご尽力も、福祉活動の一環となります。そのような観点から、赤い羽根共同募金は地域を良くする仕組みとして機能しています。



ご協力ありがとうございました！

〈地域包括支援センター〉

「令和 5 年度 仲多度南部在宅医療・介護連携推進事業研修会」

令和 6 年 2 月 29 日に、琴平町、まんのう町の医療・介護福祉関係者の方々が集まり研修会を行いました。地域でのネットワークの構築や多職種が連携して課題解決に向けた施策に取り組んで行くことを目的としています。

「在宅医療」をテーマとして、花水木調剤薬局の森先生を講師としてお招きし薬局での取り組みについて学びました。グループワークでは、各テーブルから積極的な意見が飛び交いました。今回の研修が今後の在宅生活に繋がっていくよう取り組んでいきたいと思ひます。



服薬支援ロボットについて説明される森先生！！



グループワークでの話し合い



<在宅福祉係>



ふすまの絵は90代のご利用者さまが1か月以上かけて少しずつ筆とクレヨンで仕上げられたそうです。今年の干支である龍を製作しようと考えられたそうです。

訪問介護を通してたくさんの方と関わる機会があります。長年の経験や技術をお持ちの方も多く、生き生きと活動されており私たちのほうが元気をいただく場面も少なくありません。人生の先輩でもある利用者様達に出会えて生活の知恵をいただくこともあります。「できることは自分でしないと。」と言われながら生活をされている方もおられ、尊敬する部分があります。

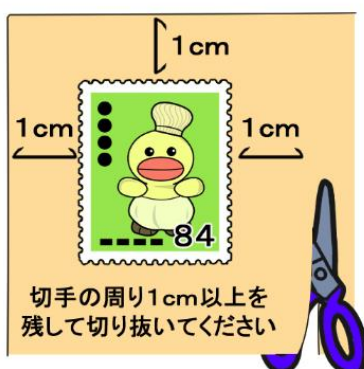
私たちヘルパーは、子育て真っ只中の20代のヘルパーさんから、子育てがひと段落したヘルパーさんまで、年齢も幅広くおり、子育ての悩み事や嫁姑の相談等意見が飛び交い、仲の良いヘルパーさん達です。

ご利用者様が住み慣れたお家で暮らしていけるよう私たちも少しでも支えになり、手助けできればと考えています。

<総務経理課>

使用済み切手ボランティア活動にご協力頂きありがとうございます。

使用済み切手の切り取り方法については下記のイラストのとおり、余白 1 cmを残して切り抜いてください。余白がない場合は有効に活用できない場合がございますのでご注意ください。



また、使用済み切手は「日本キリスト教海外協力会」にまとめて送付しています。活用状況等詳細な情報を確認したい方は、上記団体のホームページかQRコードよりご確認ください。

<https://www.jocs.or.jp/support/stamp>

